

1. テーマ

現代社会におけるタックス・リテラシー（租税に関する認知力）の修得と醸成

2. ゼミのねらい・概要

現代の経済社会を生きる社会人として有しておくべき実践的実務能力としてのタックス・リテラシーの修得と醸成を目的とする。租税は会計学・法学・財政学・経営学の各領域からアプローチされる極めて学際的な学問対象であるが、本ゼミでは特に、前期は租税に関する基礎知識を、後期は租税法を中心に学習を進め、適宜現代に惹起するさまざまな税務問題について討議するとともに、国際課税論や税務戦略論についても議論する。

3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. 日本の租税制度	1. 租税法の基礎①（意義と特質）
2. 租税の概念	2. 租税法の基礎②（基本原則）
3. 財政の役割と仕組み	3. 租税法の基礎③（法源と効力）
4. 経済の安定化機能	4. 租税法の基礎④（解釈と適用）
5. 国の財政「歳入」	5. 租税法の基礎⑤（課税要件）
6. 国の財政「歳出」	6. 国際課税論①（居住者・恒久的施設）
7. 公債残高の状況	7. 国際課税論②（ソース・ルール）
8. 租税負担の国際比較	8. 国際課税論③（国際的租税回避防止策）
9. 負担と福祉のバランス	9. 国際課税論④（国際的二重課税救済策）
10. 租税法の基本原則	10. 国際課税論⑤（租税条約）
11. 租税体系	11. 税務戦略論①（税務戦略の目的）
12. 租税の種類	12. 税務戦略論②（税務戦略の基本的態様）
13. 納税義務者	13. 税務戦略論③（税務戦略の基本公式）
14. 申告納税方式と賦課課税方式	14. 税務戦略論④（投資収益に対する課税パターン）
15. 税理士の役割	15. 税務戦略論⑤（演習）

4. 到達目標

タックス・リテラシーの修得・醸成というテーマのもと、租税のもつ学際的性質を理解しつつ基礎的な租税法の学習を通じて、4年次の卒業研究につなげるための租税研究の基礎知識を修得することを目標とする。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

テキストその他学習資料の予習（60 分程度）

6. 成績評価の方法・基準

発表や討議等を通じたゼミでの貢献度を総合的に評価する。

7. テキスト・参考文献

テキスト：『租税教室』日本税理士連合会。また、授業のなかで適宜プリントなどの学習資料を配布する。

8. 受講上の留意事項

割り当てられたテーマについて発表とグループ討議を行うので、日頃から税について興味をもってゼミに参加すること。